

2019
9/6

Friday

13:30-17:00

Tokyo

第 11 回知識構造化シンポジウム

「多様化する SSM 実践 未然防止知識の進化を探る」

会 場：東京証券会館（東京都中央区）

参加費：4,500 円（税抜き、会員・一般とも）◆特典つき！詳細は裏面に◆

主 催：一般財団法人日本科学技術連盟

後 援：一般財団法人日本規格協会、一般社団法人日本品質管理学会、
日本信頼性学会、一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター、
一般社団法人日本自動車部品工業会、株式会社日科技連出版社

不具合情報・技術情報から知識を一般化・体系化し、再発防止・未然防止に有効活用する SSM による構造化知識マネジメントは、多くの業種・企業で取り組まれています。導入企業では、SSM 知識を活用し、デザインレビューの改善や FMEA、チェックリストなどの手法の強化といった様々な活動を進め、設計品質を向上させています。また昨今では、試験、製造、サービスなどの業務に知識を活用し、各業務の品質向上、ノウハウ伝承に役立っています。さらに未然防止に役立つ知識づくりの負担を軽減するための取り組みも進められています。

今回のシンポジウムでは、設計や試験など様々な業務で SSM を実践している 3 社の取り組みについてご紹介し、各社の講演を通じて、導入中・導入検討中の皆様に役立つヒントをご提供します。

※本シンポジウムは実践に重点をおいた内容となっています。下記の書籍を事前にお読みいただくと、一層効果的です。

『SSM による構造化知識マネジメント－設計開発における不具合防止に役立つ知識の構築と活用－』（田村泰彦 著 日科技連出版社）

『JSQC 選書 第 4 巻 『トラブル未然防止のための知識の構造化－SSM による設計・計画の質を高める知識マネジメント－』（田村泰彦 著 日本品質管理学会監修 日本規格協会）

（田村泰彦 著 日本品質管理学会監修 日本規格協会）

プログラム

時 間	内容／講演者（敬称略）
13:30-13:40	オリエンテーション
13:40-15:40	事例講演 1： 「空調機的设计および試験部門における SSM を活用した不具合未然防止と業務効率化」 江口 剛（三菱重工サーマルシステムズ(株) 空調機技術部 技術管理課 主席チーム統括） 服部 貴之（三菱重工サーマルシステムズ(株) 空調機技術部 商品企画 Gr 主席技師） 事例講演 2： 「ワークに優しい包装機技術のSSMによる伝承と社員育成」 有門 一雄（(株)京都製作所 技術開発本部 課長） 事例講演 3： 「SSM による知識データベースを活用した音振動の原因調査・未然防止の取り組み」 水野 浩樹（日本精工(株)ステアリング&アクチュエータ技術センター ステアリングR&D センター音振動技術室 室長） 中島 泰裕（日本精工(株)ステアリング&アクチュエータ技術センター ステアリングR&D センター音振動技術室 副主務）
15:40-16:10	特別解説：「SSM 導入・定着の進め方と知識マネジメントの最新動向」 長谷川 充（(株)構造化知識研究所 シニアコンサルタント）
16:10-16:50	総合討論：全講演者 コーディネータ：田村 泰彦（(株)構造化知識研究所 代表取締役）
16:50-17:00	まとめ

※プログラムは予定です。時間・講演内容・タイトルなど予告無く変更される場合がありますので予めご了承ください。

お問合せ先

一般財団法人 日本科学技術連盟品質経営研修センター 研修運営グループ TQM チーム SSM 担当

TEL：03-5378-1213 E-mail：tqmsemi@juse.or.jp

お申込みは裏面をご利用頂くか、日科技連ホームページ URL：<http://www.juse.or.jp/> をご確認ください。

概要 (講演者敬称略)

事例講演 1 「空調機的设计および試験部門における SSM を活用した不具合未然防止と業務効率化」

江口 剛 (三菱重工サーマルシステムズ(株) 空調機技術部 技術管理課 主席チーム統括)

服部 貴之 (三菱重工サーマルシステムズ(株) 空調機技術部 商品企画 Gr 主席技師)

弊社、空調機技術部では、SSM 手法によるトラブル未然防止に取り組み中である。まず要素試験部門において知識化する領域を限定し、網羅性を確保することで早期の実務適用を図りながら、徐々に他の試験部門、設計部門に活動を展開した。具体的には、トラブルの再発防止として蓄積してきた戦訓を SSM 知識化し、SSMmaster から出力した FMEA およびチェックリストにより、設計部門では開発初期段階でのリスク抽出と対策立案を進めている。また、試験部門では SSM 知識を試験項目の抜け漏れ防止や試験条件検討の効率化に活用している。本講演では、これらの取り組みについて紹介する。

事例講演 2 「ワークに優しい包装機技術の SSM による伝承と社員育成」

有門 一雄 (株)京都製作所 技術開発本部 課長)

弊社は、食品・洗剤・化粧品・医薬品・電子部品などのお客様の製品を包装梱包する機械を主に受注生産している。第8回シンポジウム(2016年)に「変化するワーク物性に対応する包装機械におけるSSMを活用した設計DRと技術者育成」と題して、トラブル知識再利用の工夫と設計者教育の取り組みを報告した。今回はそれらの続報を行う。また、設計者のためのSSMから更に発展させ、製造・サービス部門を対象とした、お客様満足度向上のための知識運用の取り組みを紹介する。

事例講演 3 「SSM による知識データベースを活用した音振動の原因調査・未然防止の取り組み」

水野 浩樹 (日本精工(株)ステアリング&アクチュエータ技術センター

ステアリング R&D センター音振動技術室 室長)

中島 泰裕 (日本精工(株)ステアリング&アクチュエータ技術センター

ステアリング R&D センター音振動技術室 副主務)

弊社では、主力商品の一つとして、自動車用電動パワーステアリング (EPS) を生産している。自動車への静粛性の要求が年々高まる中、EPS においても軽量、低コスト、高出力化に伴い、多くの音振動現象が発生しており、原因究明および対策立案に時間を要している。そこで、音振動の原因調査で得られた知見 (現象、メカニズム、対策、調査プロセスなど) を体系化し、音振動の原因調査の効率化、未然防止を目的として、SSM を用いた構造化知識データベースを構築している。本講演では、これらの活動の経緯と内容について紹介する。

特別解説「SSM 導入・定着の進め方と知識マネジメントの最新動向」

長谷川 充 (株)構造化知識研究所 シニアコンサルタント)

総合討論 (全講演者)

コーディネータ: 田村 泰彦 (株)構造化知識研究所 代表取締役)

◆参加者特典のご案内◆

本シンポジウムの参加者特典として、日科技連主催「設計開発における不具合未然防止のための知識活用セミナー」(参加費: 一般 67,000 円、会員 60,000 円 (税抜き)) の参加費割引 [一般・会員とも 4,500 円 (税抜き) / 1 名の割引] を実施します! (※2019 年度第 2 回、2020 年度第 1 回コースが対象となります。) 本特典は 3 名様 (シンポジウム参加者ご本人 + 2 名) までご利用可能です。上記セミナーに参加される場合、本シンポジウムの参加費分が割引される大変お得な特典です。ぜひご利用ください! なお、本特典をご利用になる際には、上記セミナーお申込み時に、本シンポジウム当日に配付する専用申込書が必要となります。

◆お申込み先: セミナー受付グループ (FAX: 03-3344-3022 / regist@juse.or.jp / TEL: 03-5990-5849)

※No 欄は記入しないでください **第 11 回知識構造化シンポジウム参加申込書** 2019 年 月 日

No	参加者名	所属事業所・部課・役職名	所在地	電話
			〒	
			〒	
			〒	

●連絡担当者さま (お申込み受付後「開催ご通知」をお送りする方)

会社名		事業所名		電話	
部課/ 役職名		ふりがな 担当者名		FAX	
所在地	(〒 -)	E-mail			
参加費	4,500 円(税抜き) × 名 =	円			

※ご記入いただいた企業・組織及び個人情報は、参加申込み受付処理ならびに日科技連からのセミナー情報ご送付のために使用いたします。また、当該個人情報が必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理し、第三者に提供することはありません。なお、お申込みいただいた方には当連盟のセミナー・研究会・講演会等をご案内する場合がございます。また、その際、宛名データを外部に委託する場合がありますのであらかじめご了承ください。ただし、ご要望があればご案内を速やかに中止いたします。
※事前のキャンセル連絡がなく欠席された場合は、資料のご送付と引き替えに参加費を全額頂戴いたします。
※参加費は、消費税抜きの金額です。2019 年度は消費税軽減対策措置法の総額表示義務の特例により税抜価格を表示させていただいております。消費税増税が実施された場合は、各セミナー等の終了日が 2019 年 9 月 30 日までは 8%、2019 年 10 月 1 日以降は 10%の消費税を税抜価格とあわせて請求させていただきます。